**柔道行事（大会、公式試合、昇段級試験、講習会　等）の参加は**

**全日本柔道連盟への事前登録が必要条件です。**

**◎「全日本柔道連盟　登録について」**

・行事前日までには団体（学校・道場）にてﾈｯﾄ登録を完了して下さい。

・未登録で無所属の方は沖縄県柔道連盟各地区直属として登録

しますので申込手続きと登録料納付を行って下さい。

・登録状況が不明の方は登録係（内嶺070-5401-3680）へ確認下さい。

**◎「級試験について」**

　・級受験者は小学生以上が対象です。

　・受験資格は原則１年の修行又はそれと同等の技量と指導者が認めた者

・級受験から次の級受験までは最低３ケ月以上の修行期間が必要

・飛び級での申し込受験は出来ません、最下位の級から順に受験する。

（試験官の判断で受験級より１ランク上の級での合格は有り得る）

・受け身の**安全性**と投げの**安全性**を重視し級毎に総合的に判断・判定。

　　　受け身は体「背中(縦横)・腰」の丸まり、頭を上げる、腕と

　　　体との開き角度（約30～45度）等を重視。

　　　投げは（引手しっかり、巻き込まない、膝を着かない）を重視。

　・試験前の会場内での礼儀・礼節・振舞・服装も合否の判断材料とする。

　・少年級保持者も中学生（≒成年）になると成年の無級となります。

・少年１級と　成年３級～１級は

「投の形」の９種（手技3、腰技3、足技3）の稽古具合を確認します。

＊技の名称を言える、数種の技を左右で掛ける。

＊継足を理解し実践できる。

　＊成年１級は初段に準ずる級であるため、「投の形」の９種の

「取」と「受」を一通りできる。

**◎「初段試験について」**

**成年（中学生以上**）で**成年１級　資格保有者**が受験資格です。

　成年１級の資格の無い方は昇段試験前に安全技量判定（1000円）を

試験官に確認させて下さい

　【内容】　（礼法）　座礼、立礼（試合での開始線前後の動き含む）

（受け身）立位・移動での前、後、横、前回りの受け身

　　　　　　　　　　　投られた際の受け身の状態

　　　　　　（投技）　前技、後技の際の技量（引手を重視）